

この概要版は、やさしい日本語を使っています。

武蔵野市の外国人のかたへの調査報告書 概要版

2022年2月 武蔵野市

外国人のみなさんが暮らしやすいまちになるように、プランをつくります。その資料にするため、調査をしました。

調査の概要

| 調査項目 | アンケート調査・インタビュー | | 属性別のヒアリング調査 |
|-----------|--------------------------------------|-----------------------------|--|
| | アンケート調査 | インタビュー | |
| 調査の対象 | 2021年9月30日時点で武蔵野市に登録されている18歳以上の外国籍市民 | アンケート調査で「インタビューに協力できる」と答えた人 | アンケート調査に答えることが難しいような人や、外国籍市民と関わっている日本人など |
| 調査の期間 | 2021年10月25日(月)から11月15日(月)まで | 2021年11月20日(土)から12月5日(日)まで | 2021年11月5日(金)から12月1日(水)まで |
| 調査の対象の数など | 2,841名 回収した数：1,225件 回収率：43.1% | 58名 | <ul style="list-style-type: none"> 市内大学留学生 2名 日本語初学者※1 9名 外国につながる子ども※2 7名 外国籍市民コミュニティ 4名 外国籍市民と関わっている日本人(外国籍市民を雇用している法人) 1名 |

※1：MIAの日本語学習支援を受けている市民のことで。

※2：親が外国籍である、日本語が母語でない、などの背景をもつ子どもです。

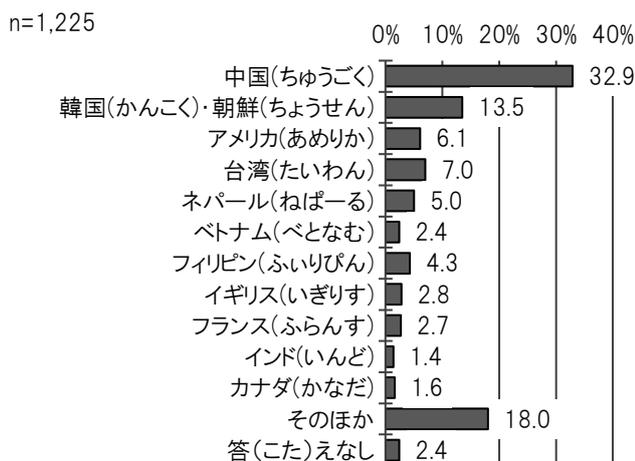
アンケート調査・インタビュー

◆アンケート調査 (SA) … 1つだけ選ぶ質問 (MA) … 2つ以上を選ぶ質問

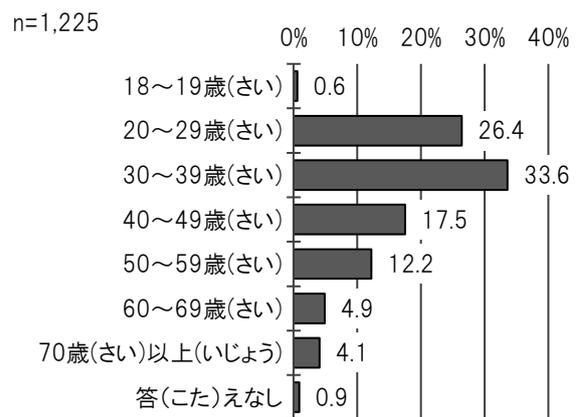
1つだけ選ぶ質問の割合を合計しても、100.0%にならない場合があります(小数点第2位を四捨五入しているため)。

(1) あなたのこと

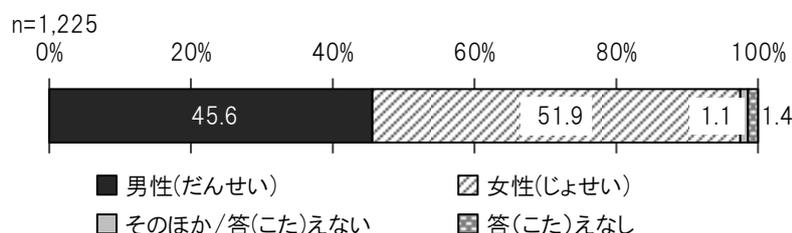
① 国籍・地域 (SA)



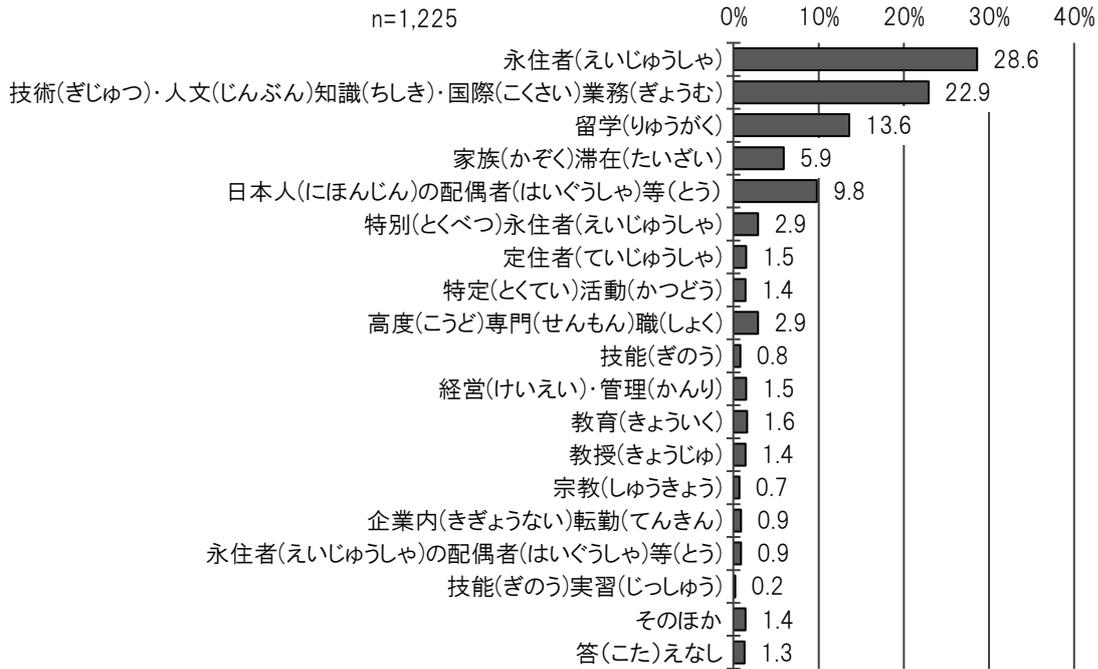
② 年齢 (SA)



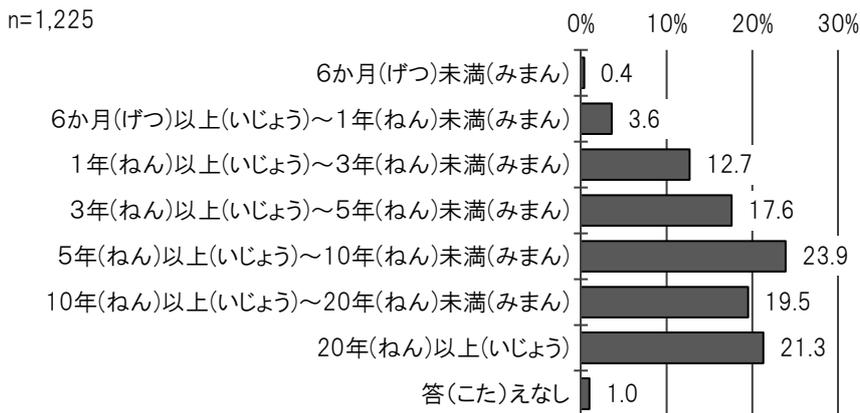
③ 性別 (SA)



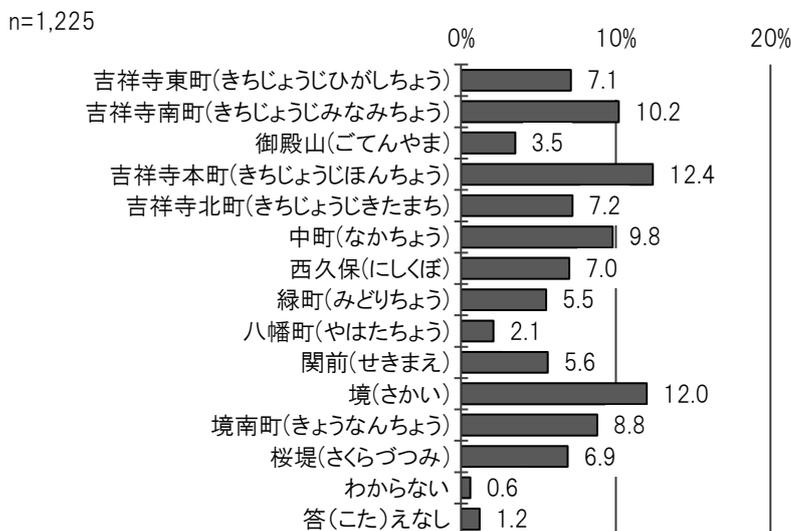
いま ざいりゅうしかく
④ 今の在留資格 (SA)



にほんす ねんすう
⑤ 日本に住んでいる年数 (SA)



じゅうしょ
⑥ 住所 (SA)



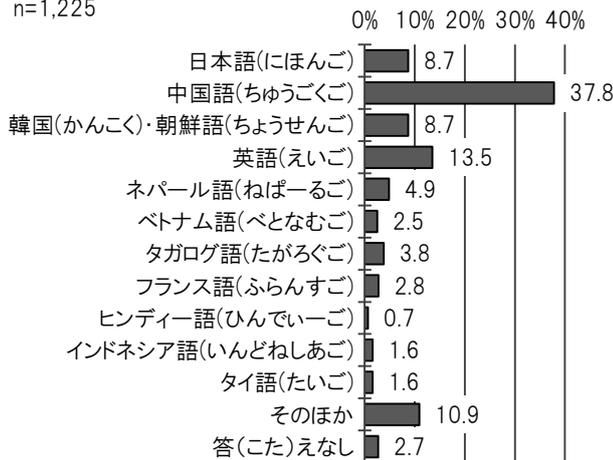
調査の対象となる人と答えた人の国籍・地域の割合は、ほとんど同じです。

年齢は、「30～39歳」が33.6%、「20～29歳」が26.4%なので、40歳未満の人が60.0%以上います。在留資格は、「永住者」が28.6%で1番多く、「技術・人文知識・国際業務」が22.9%で2番目、「留学」が13.6%で3番目に多いです。日本に住んでいる年数の合計は、10年以上の人が40.0%以上います。

(2) 言葉のこと

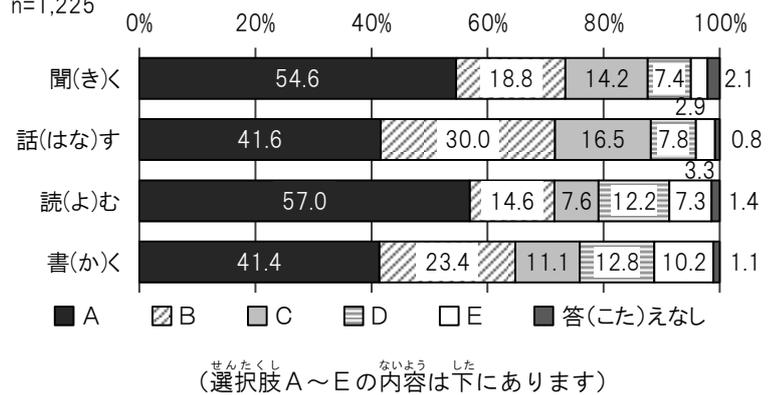
⑦ 第一言語 (SA)

n=1,225



⑧ 日本語の能力 (SA)

n=1,225

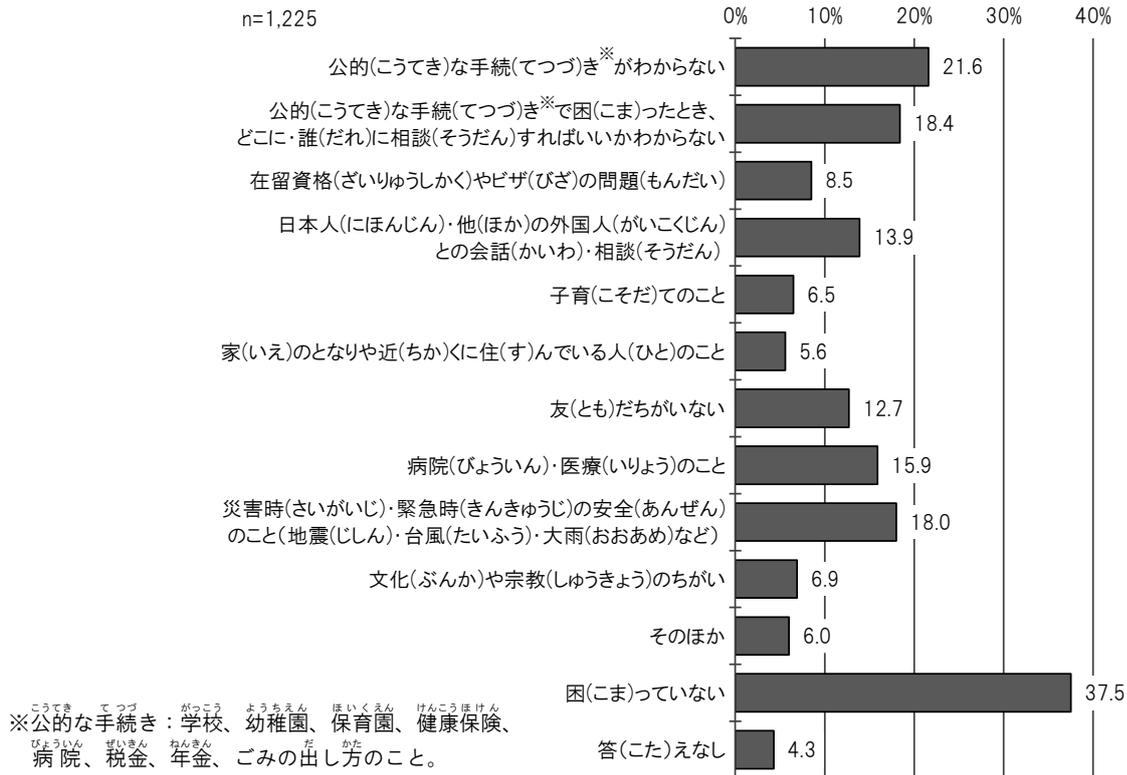


| | A | B | C | D | E |
|--------|-------------------------|---------------------------|---------------------------|----------------------------------|-----------|
| 聞(き)く | ニュース、ドラマの内容を理解できる | 相手の言うことは大体理解できる | 相手がゆっくり話すことは理解できる | 短い言葉だけ聞いてわかる | ほとんどわからない |
| 話(はな)す | 自分の言いたいことが問題なく話せる | 自分の言いたいことが大体話せる | 簡単な日常会話ができる | 自己紹介、決まったあいさつ、短い言葉なら言うことができる | ほとんど話せない |
| 読(よ)む | 手紙やお知らせを読んで、理解できる | 手紙やお知らせを読んで、少し理解できる | 広告や、駅の案内板を見て、欲しい情報がとれる | 絵のついた簡単な指示(例: ごみの捨て方、料理の作り方)がわかる | ほとんど読めない |
| 書(か)く | 報告書やレポートで用いる文章を書くことができる | 自己紹介や日常生活をつたえる文章を書くことができる | まわりの人に伝える簡単なメモなどを書くことができる | 自分や国の名前、住所などが書ける | ほとんど書けない |

第一言語は、「中国語」が37.8%で1番目、「英語」が13.5%で2番目に多いです。日本語の能力は、[聞く][読む]力は、50.0%以上の人がA程度まで、[話す][書く]力は、たくさんの方がB程度までできています。だいたい日本語で理解したり伝えたりできることがわかります。

(3) あなたが困っていること

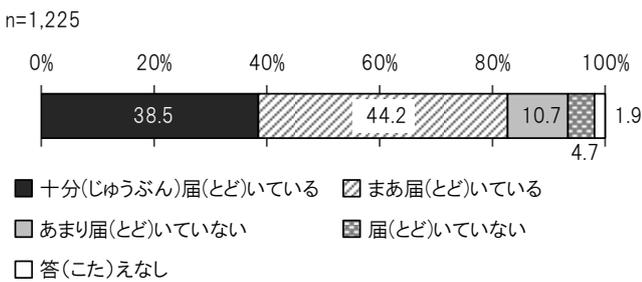
⑨ 生活の中で不便を感じていることや困っていること (MA)



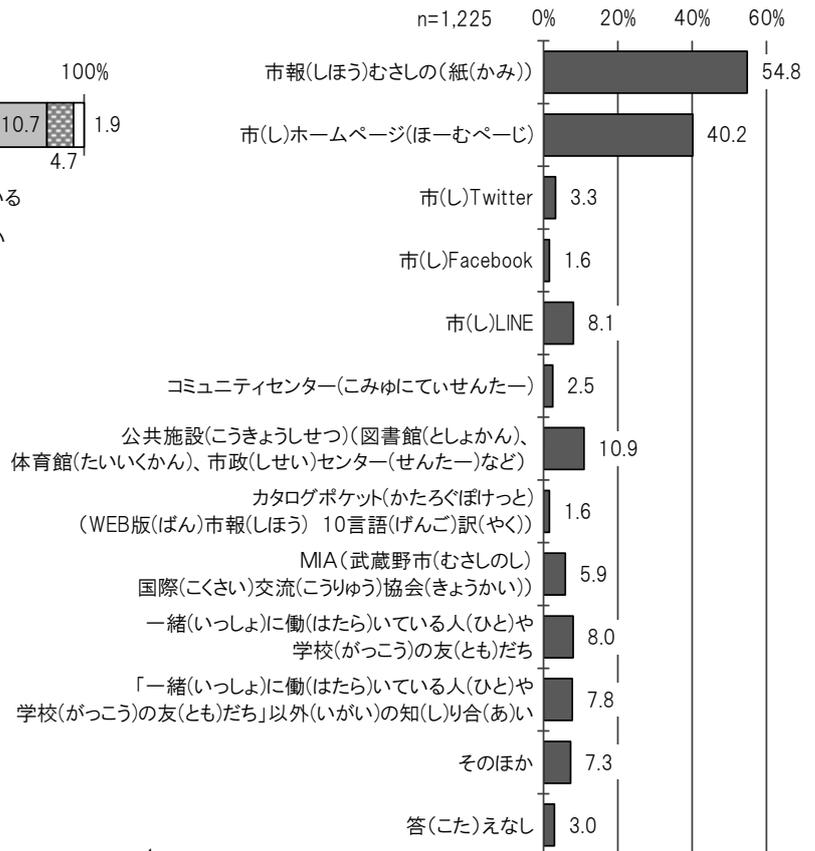
「公的(こうてき)な手続き(てつづ)きがわからない」が21.6%、「公的(こうてき)な手続き(てつづ)きで困(こま)ったとき、どこに・誰(だれ)に相談(そうだん)すればいいかわからない」が18.4%なので手続き(てつづ)きが難しいことがわかります。しかし、「困(こま)っていない」が37.5%で1番(ばん)多く、不便(ふべん)を感じる(かん)ことなく生活(せいかつ)できている人(ひと)も多いです。

(4) 情報(じょうほう)や相談(そうだん)のこと

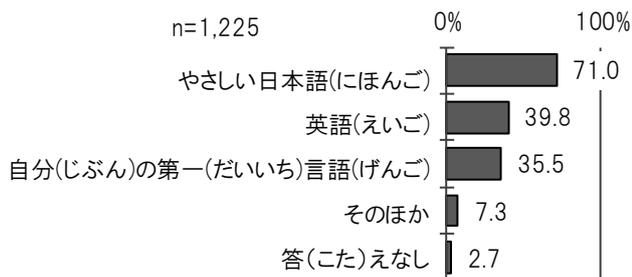
⑩ 必要な情報(ひつよう じょうほう)が届(とど)いているか (SA)



⑪ ふだんの情報(じょうほう)の入手先(にゅうしゅさき) (MA)



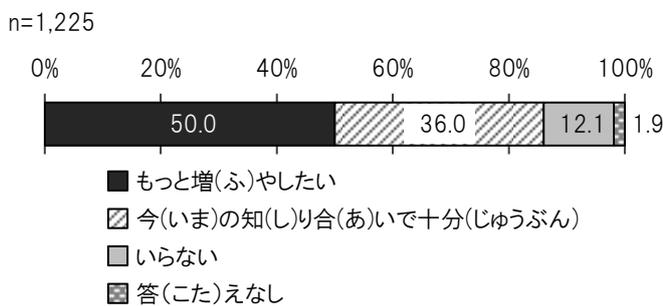
⑫市からの情報はどの言語だとわかるか (MA)



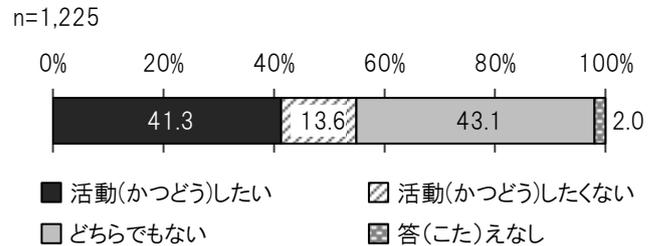
「十分届いている」「まあ届いている」を併せると82.7%で、必要な情報はたくさんの人に届いています。情報の入手先は、「市報むさしの(紙)」が54.8%で1番多く、「市ホームページ」が40.2%で2番目に多いです。また、市からの情報は、「やさしい日本語」でわかる人が71.0%で1番多くなっています。

(5) 地域のこと

⑬家のとなりや近くに日本人の知り合いがほしいか (SA)



⑭近くに住んでいる人の役に立つ活動がしたいか (SA)



家のとなりや近くに日本人の知り合いがほしいかについては、「もっと増やしたい」が50.0%、近くに住んでいる人の役に立つ活動がしたいかについては、「活動したい」が41.3%で、地域で日本人と同じように活動したいと思っていますの人がいます。

◆インタビュー 【答えの一部】

(1) 情報を知る方法・言語のこと

- ▷ Google翻訳やスマートフォンのアプリなどで翻訳している。
- ▷ やさしい日本語や、漢字にふりがながあればわかる。
- ▷ 内容を簡単に、短くしたほうがいい。「重要」「アクション必要」の2つを強調してほしい。
- ▷ 母語(色々な言語)で書いてほしい。

(2) 多文化共生のこと

- ▷ 自然に接してほしい。壁を作らないで接してほしい。
- ▷ 外国人と日本人を分けなくて、一緒に一つの国に住んでいる人間として仲良くしてほしい。
- ▷ お互いの言語、文化を学ぼうとすることが大事。

(1) 情報を知る方法・言語のこと

- ▷ 届いた手紙を読む時は翻訳アプリを使っている。また、MIAの日本語教室の先生に聞いている。(日本語初学者)
- ▷ ホームページを翻訳アプリで読んでいる。(日本語初学者)
- ▷ 市役所の窓口に通訳がいれば一番良い。いなければ、ゆっくり話したり、書いたりしてほしい。書いた紙を家でゆっくり読むこともできる。また、漢字が多い方がわかりやすい。翻訳アプリなどは間違っているともわからない。(日本語初学者)
- ▷ 窓口で「日本語があまりできない」と伝えと、やさしい日本語で優しく対応してくれた。子どもや家族の書類のことも、やさしい日本語で教えてくれる。自分はやさしい日本語なら少しずつわかるようになってきた。(日本語初学者)
- ▷ 書類は、英語で書いたり、漢字にふりがなを振ったりすると良い。漢字は意味が多くて難しいため、漢字ばかりではわからない。やさしい日本語も読みやすいと思う。(外国籍市民コミュニティ)
- ▷ やさしい日本語はわかりやすいが、税、年金、国民健康保険などはやさしい日本語でもわからない。英語を話せる人がいれば安心できる。(日本語初学者)

(2) 多文化共生のこと

- ▷ 外国人としては、日本の文化を尊重し、学ぶこと。日本人は、外国人を受け入れる態度があると思う。受け入れられなかった経験はない。(日本語初学者)
- ▷ 文化の違いを尊重し、違う背景を理解することが大切。(日本語初学者)
- ▷ 日本も他の国も、そのような文化があるんだ、という風にお互いに理解してほしい。お互いのことを理解するためのイベントがあったらいいと思う。ぜひ参加したい。(外国籍市民コミュニティ)
- ▷ 日本人には、気を遣うことを少し控えてほしい。気持ちは嬉しいが、わかっていることを何度も言われることは嫌だ。(市内大学留学生)

(3) その他

- ▷ 日本に来る前は、友だちがしてくれるか不安だった。言葉がわからないから、何を話したらいいのかわからず、不安な気持ちがあった。今は漢字が不安。(外国につながる子ども)
- ▷ イスラム教の人の祈りのために、場所や時間を確保している。ラマダン(断食)のときは、サポートをしている。また、女性がヒジャブ(被り物)を着ることを許可している。しかし、許可していない法人もあるようだ。宗教の文化を理解することで、イスラム教の人が働きやすくなる。(外国籍市民と関わっている日本人)

情報を発信するときは、母語で書いてほしいという意見もありますが、スマートフォンなどの翻訳ツール・アプリを使って日本語を理解している人もいました。また、様々な国や地域の人と一緒に暮らすには、文化や宗教の違い、国と国との関係を理解することも大切ですが、壁を作らないで自然に接して欲しいという意見もあります。